

6. 11月3日は、いいお産の日 ～見つけようマイ助産師～

お産ラボ

共同代表 平田 砂知枝 増本 恵子

1. 事業目的

年間4万人の妊産婦が精神科治療を必要とされ、妊娠・出産期の死因第1位が自殺、また、妊娠から産後にかけて孤独になりがちな母親の8割が子育てに負担や不安を感じている。また、父親にとっても、初めての育児に戸惑い、パパ鬱といわれるような事態も起こっている。

女性・家族が安心して出産・育児をするために、産前から産後まで継続して寄り添ってくれる助産師さんによる身体的かつ精神的なケアが必要とされている。全国有数の地域で活躍する助産師が多い静岡でも、その存在が十分に女性や家族に知られておらず、役割が十分果たせていない状況の中、みんなで妊娠・出産・産後についてまず知る事、そして、気づき、学びを共有する機会とする。

2. 事業内容

- ・お産劇『バーストラウマ』
- ・お産体験談のシェア『
- ・特別講演『This is マイ助産師』

講師：日本妊産婦支援協議会 りんごの木

講演後、参加者とともにグループワーク、意見交換会を行う。

また、会場内において、協働団体である静岡市助産師会による妊婦ジャケットの試着体験会、おしりふじによるおむつなし育児の説明・おまる体験会を行う。

< 当日のスケジュール >

9:45~	開場
10:00~10:05	あざれあ協議会理事挨拶
10:05~10:10	講師紹介 日本妊産婦支援協議会りんごの木
10:10~10:15	お産ラボ活動紹介
10:15~10:35	お産劇『バーストラウマ』
10:35~11:05	お産の体験談 10分×3名
11:05~11:15	トイレ休憩
11:15~11:35	講演 『This is マイ助産師!』
11:35~12:35	大意見交換会
12:40~12:45	総評
12:45~12:50	挨拶 りんごの木さんより
13:00	閉会

お産劇



Special thanks

くこの助産院
あはな助産院
一般社団法人静岡県助産師会
ナイルインターナショナル株式会社
ふじみ産ならびりリニョウ
ファミリーリリニョウ株式会社
リリエイティブエージェンシー 月乃ラム
このは産科医療
マトリモサワラ有株式会社
スワゴ レス(ペース デュ バレエ
助産院 渚の色
杉本真美 (あ母さん 業界新聞静岡支局)
いなば助産院
ミルギードリーム 産科乳児科
湯浅書店
A in i 助産院
石川美帆 (清水区産科助産師)
片山産科助産院
渡辺助産院
にこちゃん♡

平成30年度あされあ産科協働事業
りんごの木 講演
『This is マイ助産師!』

お産劇 『パーストラウマ』
いいおさんのひ
2018年11月3日(祝・土)
於：静岡市民文化会館 2階 第1会議室
主催：お産ラボ
協働団体：一般社団法人静岡県助産師会
静岡市助産師会 せしりふじ
後援：静岡市

11/3は いいお産の日 /
～見つけよう!マイ助産師～
お産劇 『パーストラウマ』
～お産の時の心の痛、その後の育児にどう影響する?～

【プログラム】
9:45 開場
10:00～ 開会 あざれあ協議会理事挨拶
10:05～ お産ラボ活動紹介
10:10～ りんごの木 講師紹介
10:15～ お産劇 『パーストラウマ』
10:35～ お産の体験談
11:05～ トイレ休憩
11:15～ 講演
『This is マイ助産師』
産見交換会ファシリテーター りんごの木
12:40～ 総評
12:45～ りんごの木 挨拶
13:00 閉会

同時開催!!
妊婦ジャケット試着会・おむつなし育児展示

【ごあいさつ】
昨年に続き、いいお産の日のイベントを開催することができ、大変嬉しく思います。多くの女性が、不安や悩みを抱えたまま産産、子育てに立ち向かっています。あ母さんの不安に寄り添い、悩みを共有してあげるマイ助産師の継続的なサポートが必要です。お産ラボは、あ母さん、あ父さん、家族と助産師を繋ぎ繋ぎを築いていきます。みんなで経験・お産・産後について考え、学び、情報を共有し、声をあげていくことで、変わっていきます。お産、子育ての明るい未来をつくりましょう!!

【注意事項】
お産劇『パーストラウマ』は、会場内の芝居へお参りします。(お産の体験談は収録はございません)
本日はビデオ撮影が入ります。お子さんがごまかしてしまったり、機材の音(体験談)もご利用ください

3. 実施日時

平成30年11月3日(土) 10:00～13:00

4. 実施場所

静岡市民文化会館 第一会議室

5. 対象者

主に子育て世代、産科医療従事者、学生など
お産劇



6. 参加人数

80名

7. 事業の成果

リアルな体験談に基づいたお産劇、お産の体験談は、妊娠期からお産、産後が女性だけでなく、男性にとっても人生の大きな転機になること、お産体験がその後の育児に与える影響の大きさを改めて考えさせられた。

多くの参加者、とりわけ、お産の最前線に立つ産科医療従事者にとって、複雑な思いを抱かせ、考える機会となり、意見交換の場で、それぞれの立場をこえて率直な思いやお産現場における問題や葛藤などが活発に語られた。

また、マイ助産師制度の実現に向けて、情報の共有、産む側とケアする側のパートナーシップの必要性、お母さん・お父さん、家族が声をあげることの大切さをシェアした。

お産劇





お産体験談

8. 今後の展望

今回のイベントを通して、共有した意見や課題を今後どのように社会へ向けて、問題提起していくか、医療機関と連携していくか、啓蒙していくかを検討していきたい。いいお産とは何か、考える機会を作っていきたい。



意見交換会